

Title	阪大日本語教育学研究 第13号 執筆者一覧
Author(s)	
Citation	阪大日本語教育学研究. 2022, 13, p. 109-109
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/87641">https://hdl.handle.net/11094/87641</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

執筆者一覧 (所属は 2022 年 3 月時点)

---

補助動詞「テミル」の用法に関する理解の現状－インドネシア語を母語とする日本語学習者を対象に－

- |            |                             |
|------------|-----------------------------|
| 磯見 真澄      | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士前期課程 2 年 |
| リスマ・リスムラティ | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士後期課程 2 年 |

中国語母語話者に対する補助動詞「ておく」の指導法に関する一考察－中国語における副詞“先”との比較から－

- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 伊藤 萌夏 | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士前期課程 2 年 |
| 齋藤 涼夏 | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士前期課程 2 年 |
| 張 舟天  | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士前期課程 1 年 |

補助動詞「-てくれる」の用法とその指導の一提案－「依頼」「非難」「皮肉」用法を対象として－

- |              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| ソンド・サンジャヤ    | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士後期課程 2 年 |
| チャランポン・スパーナン | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士後期課程 2 年 |
| 三輪 若奈        | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士前期課程 1 年 |

話者に対する方向づけを表す補助動詞「てくる」の考察－インドネシア語・中国語を母語とする学習者に対する導入案の提案－

- |             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 福永 佳代子      | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士前期課程 1 年 |
| ラーマナ ヌル アリニ | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士後期課程 1 年 |
| リ ブンセン      | 言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士前期課程 1 年 |